

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

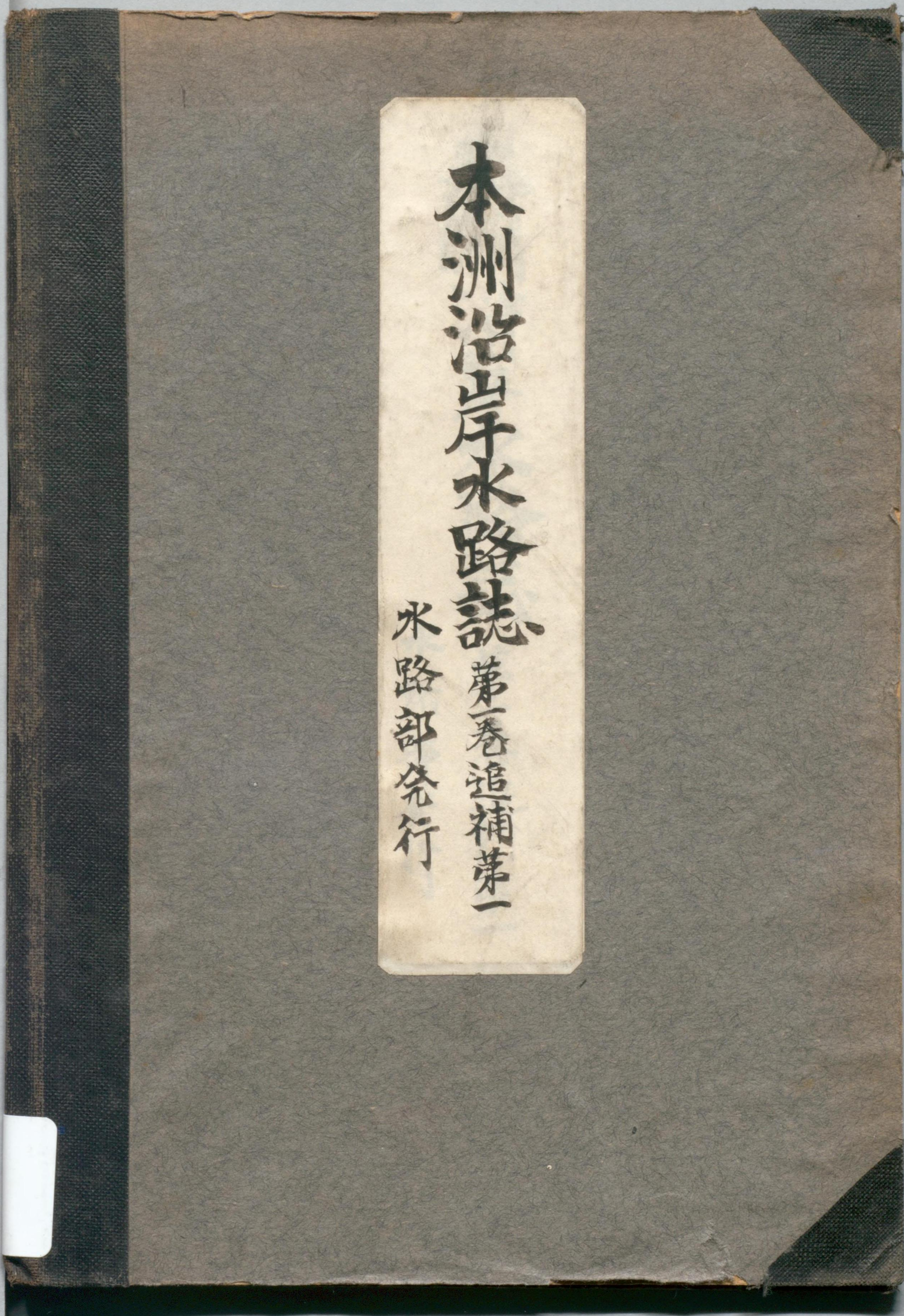
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black

3 2 1 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25



本洲沿岸水路誌
 第一卷 追補第一
 水路部発行

水
47

書誌第1號A追

本洲沿岸水路誌

第1卷

追補第1

昭和6年10月刊行

水路部

水
47

注 意

追補ヲ受領シタルトキハ下記ノ如ク取扱フモノトス。

- 1 当該水路誌ノ表紙裏ニ在ル追補番號記入表ニ必要ナル填記ヲ爲ス。
- 2 当該水路誌ニ貼付セル關係告示ニシテ同追補ニ収録セル以前ノモノハ之ヲ除去スルモノトス。
但シ一時關係告示ニシテ尙効力ヲ存スルモノハ此ノ限ニ在ラズ。
- 3 当該水路誌ノ關係箇所欄外ニ同追補ノ關係頁數ヲ「追補第…、…頁」ト鉛筆記入ス。
簡單ナル事項ハ当該水路誌ニ直接加筆訂正スルモ差支ナシ。
- 4 追補ハ常ニ当該水路誌ノ間ニ挾ミ保管スルヲ要ス。

水-47

本洲沿岸水路誌 第1卷

追補 第1

本追補ハ大正15年1月ヨリ昭和6年7月迄ノ水路告示(15年告94項至6年告896項)及其ノ他ノ資料ニ據リ大正14年12月刊行ノ本洲沿岸水路誌第1卷中ノ關係事項ヲ加除訂正シ之ヲ列記セルモノナリ。

昭和6年10月 水路部

頁 行 記 事

表紙裏

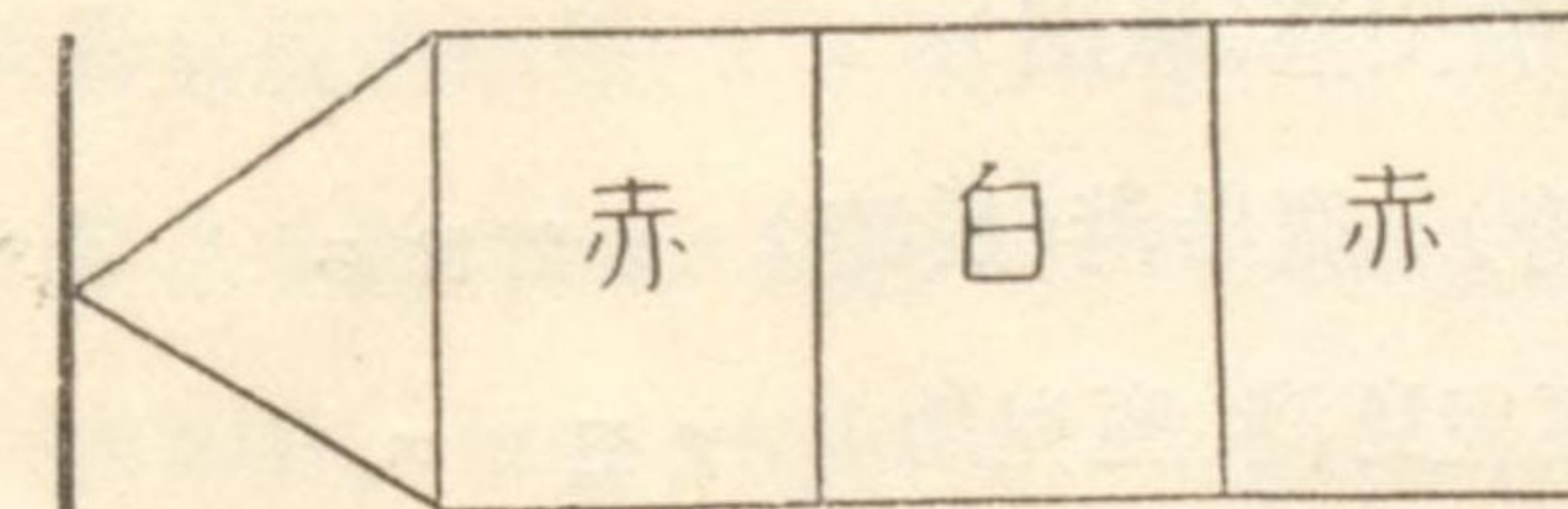
20次

次ノ通追加ス

海軍省令第20號 (大正15年12月7日官報)

帝國海軍艦船、航空機作業、掃海作業、曳船作業及測量作業ニ從事中ハ衝突等ノ危險ヲ豫防スル爲左記ノ信號ヲ爲シ該艦船ノ運動自由ナラサルカ針路ノ變換困難ナルカヲ表示スルヲ以テ其ノ附近海面ヲ通航シ又ハ同海面ニ於テ作業スル船舶ハ之ニ注意スヘシ

1. 航空機發著作業ニ從事中ノ艦船ハ晝間最見エ易キ所ニ左圖ノ如キ吹流1箇ヲ掲揚ス



前項ノ信號ヲ爲セル艦船航進中ナルトキハ航空機發著作業中ナルヲ以テ其

ノ前路ニ接近スルハ危險ナリ又該艦船停止セルトキハ航空機發著又ハ出入作業中ナルヲ以テ其ノ1,000米以内ニ接近スルハ危險ナリ

2. 掃海作業中ノ艦船ハ最見エ易キ所ニ晝間ニ在リテハ直徑2尺ノ黒球1箇ヲ掲揚シ夜間2隻以上ノ場合ニ在リテハ周圍少クトモ2海里ノ距離ヨリ見得ヘキ④④④3箇ノ燈ヲ上下ニ少クトモ4

尺宛ヲ隔テテ連掲ス
 前項ノ信號ヲ爲セル艦船單艦(艇)ノ場合ニハ掃海索ヲ其ノ左右斜後ニ曳航スルヲ以テ其ノ500米以内ニ接近スルハ危険ナリ又該艦船對艦(艇)又ハ群艦(艇)ノ場合ニハ翼端及後尾ノモノヨリ500米以内ニ接近スルハ危険ナリ
 對艦(艇)ノ間ヲ航過セサル様特ニ注意スルヲ要ス
 3. 艦船他ノ艦船又ハ艦砲射撃用標的等ヲ曳航中又ハ其ノ曳索ヲ揚收中ハ晝間最見エ易キ所ニ直徑2尺ノ黒球3箇ヲ上下ニ少クトモ6尺宛ヲ隔テテ連掲ス
 前項ノ場合ニ於テ曳索上ヲ航過スルハ最危険ナリ
 4. 測量ノ爲停止中又ハ一定針路ヲ航行中ノ艦船ハ晝間最見エ易キ所ニ直徑2尺ノ黒球ノ下ニ少クトモ6尺ヲ隔テH旗(白紅)1流ヲ連掲ス

卷首 圖 關係區域中ヨリ九州東岸ヲ除ク様改記スルコト
 目錄 3 14至19 削除ス
 本文 3 3 絲崎港(廣島) ヲ 尾道糸崎港(廣島) ト改ム
 3 5 ノ 末尾ニ 宇野港(岡山) ヲ 追加ス
 3 8次 次ノ 通追加ス
 3 10 萩港(山口) 船川港(秋田)
 3 12 ノ 末尾ニ 鹿兒島港(鹿兒島) ヲ 追加ス
 3 21 馬山及鎮海港(行巖港)(同) ヲ 削除ス
 4 19 横濱 ノ次ニ 大阪 ヲ 追加ス
 4 20 及函館 ヲ 削除ス
 4 21 船舶無線電信局ヘ ヲ 削除ス
 5 1次 次ノ 通追加ス

無線羅針局及無線標識局 無線方位測定通信規則ニ依リ方位

測定ニ關スル通信ヲ取扱フ
 無線羅針局ハ野島崎、鹽屋崎、金華山、尻矢崎、鮎崎、惠山岬、圓島及大連ニ設ク圓島及大連以外ノ各局ハ目下試験中ナリ○無線標識局ニ關シテハ船舶航行ノ安全上無線電信ニ依リ方位測定ニ關スル通信ヲ爲ス場合ハ當分ノ間海岸局ニ於テ其ノ取扱ヲ爲ス○孰レモ方位測定ノ取扱ハ總テ之ヲ無料トス○鐵道省ニ於テ同省所屬青函連絡船ノ用ニ供スル爲函館港附近ニ無線標識局ヲ設置シ業務ヲ開始セリ(東洋燈臺表上卷參照)

30 8 舞鶴 ヲ 若狹 ト改メ 金澤 石狩 ヲ 削除ス
 30 9次 次ノ 通追加ス
 30 23至24 横濱 父島 函館 鷺鑾鼻 臺東 花蓮港 清津 釜山 鎮南浦 及名古屋 以下ヲ次ノ通改ム

名古屋、廣島、熊本、仙臺、札幌、金澤、岡山、福岡、静岡、長野、京城、大連及臺北ノ15放送局ニ於テハ夫々定時報送ヲ爲ス
 水路告示放送 緊急ヲ要スル水路告示ハ午後9時5分ヨリ同15分頃迄ノ間ニ於テ東京無線電信局(JJC)ヨリ放送ス○必要ニ應ジ東京無線電信局以外ノ遞信省所管無線電信海岸局ヨリ放送スルコトアルベシ
 基隆無線電信局(JFK)ニ於テハ午後1時20分ノ天氣豫報ニ引續キ緊急水路告示ヲ放送ス○大泊無線電信局(JTW)ニ於テモ午前8時30分、午後2時30分、午後8時30分ノ氣象實況報ニ引續キ樺太沿海航行船舶ノ危険警戒ニ必要ナル事項ヲ放送ス
 緊急水路告示中必要アル事項ハ午後7時ヨリ東京中央放送局(JOAK)ヲ經テ全國各放送局ヨリ「放送無線電話」ニ依リ官省公示事項トシテ放送ス○燈臺局ニ於テモ同局所管ノ航路標識新設、改廢、異變等一般艦船ノ航行保安上注意ヲ要スベキ緊急事項ハ午後7時ヨリ東京中央放送局(JOAK)ヨリ「放送無線電話」ニ依リ遞

頁	行	記 事
		信省公示事項トシテ放送ス
31	23	經度圈 ヲ 緯度圈 ト改ム
34	11至14	劍埼 以下 保視スルヲ要ス 迄ヲ削除ス
35	10次	次ノ通追加ス
		沖ノ山 東京海灣ノ灣口沖ニ在リテ洲ノ埼ノ西方約9哩ニ位 シ附近ノ深海ヨリ聳立セル海臺ヲ成ス而シテ同礁ハ深度31米ニテ 掃海測量済ナリ
38	10	水底電信線 ノ記事ヲ次ノ通改ム
		水底電線 富津、第1海堡、走水間ニ2條、第1海堡、山崎 間ニ1條及金谷村、千駄埼間ニ4條ノ水底電線アリ
38	23	低潮ニ0.6米 ヲ 1.8米 ト改ム
38	24	礁上水深 ヲ 礁頂干出 ト改ム
39	1	7.5米 ヲ 5.7米 ト改ム
39	3	20米 ヲ 200米 ト改ム
39	19次	次ノ通追加ス
		水底電線 洲ノ埼ヨリ東方約1哩ニ位スル西岬村大字坂田ト 大島元村トノ間ニ水底電線アリ
39	22	白塗著屋 ノ次ニ 及無線電信柱(2基) ヲ追加ス
39	23至24	及高島 以下 信號竿アリ 迄ヲ次ノ通改ム
		樹木茂リ顯著ナリ
39	27	那古 以下ヲ次ノ通改ム
		安房北條驛南東方約300米及北方1,050米ニ在ル火ノ見櫓ハ白燈 ヲ點ジ夜間入港ノ好目標ナリ◎那古觀音堂及其ノ南方約1,000米 樹木中ノ新築木造小家屋、船形町南方海岸ノ煙突、船形觀音堂及 其ノ西方約150米ニ在ル赤屋根家屋等ハ好目標ナリ又船形觀音堂 附近ニ白色燈火2箇アリ此ノ附近ノ最高燈ニシテ石段ニ點ジアル 燈火ト共ニ夜間ノ好目標ナリト謂フ◎雀島モ亦顯著ナリ

頁	行	記 事
40	18至19	南方 以下ヲ次ノ通改ム
		南西方500米及900米ニ在リ棧橋ヲ設ク◎那古觀音堂南西方約 600米ニモ上陸棧橋アリ
40	21	税關監視所アリ ヲ次ノ通改ム
		税關監視所及海軍航空隊用地アリ
40	22	小突堤アリ ヲ次ノ通改ム
		約240米突出セル防波堤アリ其ノ先端ニ不動綠光燈ヲ點ズ
41	1次	次ノ通追加ス
		障碍物沈置區域 金田灣内北部ニ障碍物沈置區域アリ、海圖 上斷線ヲ以テ示ス、該区域内ニ於テハ水中沈置物ノ敷設碇置若ハ 之ニ類似ノ作爲、探海掃海若ハ之ニ類似ノ作爲、海中爆發及漁撈 採藻ヲ禁止セラル
41	14至17	避險標 ノ記事ヲ削除ス
42	9次	次ノ通追加ス
		地方暴風標 明神埼ニ地方暴風標アリ
44	24	白塗 ヲ 黑白横線塗 ト改ム
44	28至	シ底部水面 以下 得ヘシ 迄ヲ次ノ通改ム
45	1	ス◎長濱煙突ヨリ91.5度5,075米ニ紅塗球形浮標及第2海堡燈 臺ヨリ8度12,850米ニ紅塗球形浮標(假設)アリ
45	4次	次ノ通追加ス
		航空機ノ夜間標識用トシテ追濱附近數箇所ニ500燭光紅光電燈 (平均水面上約39乃至62米)ヲ點ジ又附近ノ水上並ニ陸上ニ多數 ノ電燈ヲ點ズルコトアルヲ以テ一般航海者ハ航路標識ト誤認セザ ル様注意ヲ要ス
45	7	60.5° ヲ 62° ト改ム
46	15至16	港界 以下 計畫アリ 迄ヲ次ノ通改ム
		港界ハ十二天鼻ヨリ本牧挂燈浮標ヲ經テ46度5哩迄引キタル一線

頁 行 記事

及該線ノ北東端ヨリ正北ニ鹽濱2立標迄引キタル一線以内トス

46 18 燈臺アリ ノ次ニ次ノ通追加ス

北水堤東端ノ内方 512.54 米ノ處ヨリ73米切開キ舢舨、短艇等ノ
通路トセリ又

46 22 船舶ハ 以下 ヘカラス 迄ヲ次ノ通改ム

船舶ハ第2號挂燈浮標(假設)ト第3號挂燈浮標(假設)トノ間ヨリ
水堤内ニ出入スル航路内即チ海圖上斷線ヲ以テ示ス投錨禁止區域
内ニ於テ碇泊及繫留ヲ禁ズ

46 23次 次ノ通追加ス

船舶航行禁止區域 昭和6年4月1日ヨリ昭和10年3月31日
迄外防波堤工事施行中工事用作業船ヲ除キ下記区域内ニ於ケル一
般船舶ノ航行ヲ禁止ス(海圖上斷線ヲ以テ示ス)

新山下町埋立地東方端ヨリ23度53分ニ引ケル線上ニ於テ該端ヨリ
3,686米ニ第1號挂燈浮標、2,408米ニ第2號挂燈浮標、2,136米
ニ第3號挂燈浮標、1,041米ニ第4號挂燈浮標ヲ設置シ第1號、第
2號挂燈浮標間及第3號、第4號挂燈浮標間幅100米(兩側ニ50
米宛)ノ海面

船舶碇繫航行禁止區域 十二天鼻北方新山下町地先ニ接シ野
木場築設中一般船舶ノ碇繫、航行ノ禁止區域アリ○海圖上斷線ヲ
以テ示ス區域ニシテ夜間ハ四隅ニ不動紅光燈ヲ點ズ

46 24 東波止場附近ノ無線電信柱 ヲ削除ス

46 24至25 南東隅ニ在ル發電所煙突及其ノ ヲ削除ス

46 27、 東方ニ在ルヲ東波止場ト曰フ西波止場ノ ヲ削除ス

46 28 皆好上陸所ナリ 以下ヲ 其ノ他小岸壁、小棧橋アリ ト改ム

47 1至2 34° 50' 以下 10.67米 迄ヲ次ノ通改ム

31度10分ニ向ヒ約368.9米突出セル鐵造棧橋アリ、橋側ノ水深11
米、基部7.3米

頁 行 記事

47 3 ヲ設ケ 以下ヲ次ノ通改ム

アリ又棧橋端ニ白光燈ヲ設ク○西波止場

47 5 幅各109米 ヲ 幅各124米 ト改ム

47 6 2,229米 ヲ 1,679米 ト改ム

47 6至7 3.1米 以下 9.1米 迄ヲ 6乃至11米 ト改ム

47 10次 次ノ通追加ス

岸壁ヲ細別スレバ次ノ如シ。

岸壁 番號	延長 (米)	水深 (米)	岸壁 番號	延長 (米)	水深 (米)	岸壁 番號	延長 (米)	水深 (米)
1號	97.6	6	2號	110.9	7.2	3號	142.9	8.4
4號	208.1	11	5號	158.5	9	6號	158.5	9
7號	158.5	9	8號	158.5	9	9號	180	9
10號	105.4	9	11號	107.2	7.3	12號	93.2	7.3

注意 1號、2號、6號岸壁ニハ其ノ壁面ニ處々段縁突出シ
アリ、3號、5號、7號、8號岸壁ハ低潮面下約5米ノ處ニ幅
0.3乃至0.5米ノ段縁突出シ 5號、6號岸壁接續部及8號岸
壁突端ノ防舷材下部ニハ舊岸壁ノ一部殘存シアルヲ以テ之等ノ
岸壁ニ繫船ニ際シテハ注意ヲ要ス

47 13次 次ノ通追加ス

繫船浮標 港内ニ29箇(内4箇ハ番外曳船用)ノ繫船浮標ヲ碇
置ス○浮標碇置用錨鎖ノ方向ハ2番及番外曳船用4箇ノ浮標ハ南
ノ西、北ノ東ニ、4乃至29番ノ浮標ハ南北ニ、A、B、C浮標ハ西
南西、東北東ノ方向ニ在リ

47 14至15 水底電話線 ノ記事ヲ削除ス

47 16 燈竿 ノ記事ヲ削除ス

47 17 306° 700米 ヲ 303度45分、670米 ト改ム

頁 行 記 事

47 18次 次ノ通追加ス
子安浮標 北水堤燈臺ヨリ41度 1,380米ノ處ニ三角形頭標附
 紅塗圓錐形浮標ヲ設置シテ子安沖ニ擴延スル洲ノ外端ヲ標示ス

47 24至25 港務部事務 以下ヲ次ノ通改ム
 呼出符字 J G C ○通信業務ハ(1)私設無線電信規則第22條(船舶遭
 難通信)及同24條(航行上ノ危險警戒ニ必要ナル通信)ノ規定ニ依
 ル通信、(2)公衆通信、(3)港務部事務用通信○通信時間自4月1
 日至10月31日迄ハ午前4時至午後8時、自11月1日至翌年3月31
 日迄午前6時至午後8時迄トス但シ夏季中海外ニ於ケル傳染病流
 行指定地アリタル場合ニハ午後12時迄延長執務スルコトアリ○東
 京海灣出入船舶ニ對シ航行注意ヲ要スル場合ニハ其ノ都度適宜通
 報ス

47 26 利用シ ノ次ニ 報時球ニ依リ ヲ追加ス

47 26至28 球ハ約 以下ヲ次ノ通改ム
 ○信號ハ毎日(但シ日曜日及一般ノ休日トシテ指定セラレタル日
 ナ除ク)本邦中央標準時12時(正午)即チ綠威平時3時ニ行フ○報
 時球ハ紅塗ニシテ白塗線1條ヲ有シ報時檣(白塗)ニ裝置シアリ○
 球ハ常ニ檣ノ下部横桁上若ハ之ニ相當スル箇所ニ据置キ正午約5
 分前ニ檣ノ上部横桁下ニ引揚ゲ正午降下セシメ其ノ降下シ始ムル
 瞬時ヲ以テ正午トス
 信號ニ過誤アリタルトキハ檣ノ横桁ニ萬國船舶信號旗Wヲ掲揚
 ス、故障ニ依リ報時信號ヲ爲スコトヲ得ザルトキハ檣ノ横桁ニ萬
 國船舶信號旗Dヲ掲揚ス

48 1 横濱 ヲ 株式會社萬國 ト改ム

48 3 Y S 標信 ヲ J O K 標信 ト改ム

48 8次 次ノ通追加ス
 信號所旗竿上ニ不動白光ノ標示燈ヲ掲ゲ○標示燈至近ニ探照燈裝

頁 行 記 事

備シアリ隨時點燈シ信號及海面警戒ニ使用スト謂フ

信號竿 私設船舶信號所標示燈ヨリ234度130米ニ横濱測候
 所信號杆(紅白塗)アリテ顯著ナリ

48 27至 外國貿易 以下 輸出入及出入船舶表 ヲ次ノ通改ム
 49 7 昭和2年中ニ於ケル貿易及入港船舶統計次ノ如シ

貿易

	數量(噸)	價額(圓)	重要品名
輸出	404,490	741,106,354	生絲、絹織物、罐詰食料、砂糖、穀粉及澱粉等
輸入	5,079,582	592,048,877	棉花、木材及板、鐵、羊毛、機械及同部分品等
移出	5,161,241	468,495,245	砂糖、木材及板、鐵、羊毛、棉花等
移入	4,068,809	249,147,488	砂糖、石炭、米、罐詰食料、鐵等

入港船舶

	汽 船		西 洋 型 帆 船	
	隻 數	噸 數	隻 數	噸 數
内 航	9,575	5,543,968	598	54,265
外 航	2,458	15,658,784	1	2,423

日本型帆船		小 蒸 氣 船		發 動 機 船		舢 舨	
隻 數	總噸數	隻 數	總噸數	隻 數	總噸數	隻 數	總噸數
15,034	109,251	1,677	24,381	14,141	215,463	49,563	1,989,267

48 13 築港内清水每1噸 60 錢 ヲ次ノ通改ム
 給水料金ハ次ノ如シ

頁	行	記	事
		岸壁又ハ棧橋ニテノ給水	1 立方米ニ付 20 錢 (但シ小汽艇用ハ 30 錢)
		水堤内	同 50 錢
		水堤外	北水堤端ノ紅光燈ヲ起點トシテ碇泊船舶ノ距離1哩ヲ増ス毎ニ水堤内ノ1立方米ノ料金(50錢)ニ15錢ヲ増ス
		夜間給水ハ全部料金ヲ2割増トス	
		58°	ヲ 62度 ト改ム
50	9	65 米 以下	工事中ナリ 迄ヲ次ノ通改ム
50	10至 11	580 米ニシテ防波堤内ニ3箇ノ繫船浮標アリ船舶ハ A, B 及 B, Cニ各艀艇繫留ス	○防波堤南端ニ不動紅光燈(假設)アリ
50	14至 15	製粉工場煙突	ノ次ニ 同燈臺ヨリ 353 度ニ在ル白色大煙突 ヲ追加ス
50	15	易シ	ノ次ニ次ノ通追加ス
		又同燈臺ヨリ 340 度ニ當ル「フオード」自動車製造工場附屬ノ水槽、淺野造船所北東方ニ在ル2基ノ大瓦斯槽等ハ好目標ナリ	
50	17	○池上本門寺	以下削除ス
50	17次	次ノ通追加ス	
		大森町東京瓦斯會社大森分工場南端附近ノ銀色瓦斯槽高サ平均水面上約70米、洲崎埋立地南端品川燈臺ヨリ52度15分 4,840 米ニ在ル白色大煙突及龜戶驛ノ南西西方約 1,500 米ニ在ル銀色瓦斯槽高サ平均水面上約66米ハ共ニ顯著ナル目標ナリ	
50	18, 19	羽根田洲	ヲ 羽田洲 ト改ム
50	18, 23	羽根田燈臺	ヲ 羽田燈標 ト改ム
50	18至 19	六角形鐵造	ヲ 圓形混凝土造 ト改ム
50	21至 22	品川挂燈浮標	以下ヲ次ノ通改ム

頁	行	記	事
		品川沖第5號挂燈浮標ハ紅塗圓筒形鐵造上部格子製櫓ニシテ燈臺ヨリ 167 度 20 分 2,680 米ニ在リ	○同第1號挂燈浮標(假設)ハ黑塗圓筒形鐵造上部四角櫓形ニシテ浚渫水路ノ西側ニ、同第2號挂燈浮標(假設)ハ紅塗圓筒形鐵造上部四角櫓形ニシテ浚渫水路ノ東側ニ在リテ水路ノ外端ヲ示ス
50	26	羽根田ノ鼻	ヲ 羽田ノ鼻 ト改ム
51	2至 7	次ノ通改ム	
		東京港ノ港灣區域ハ大正 12 年内務省告示第 276 號ヲ以テ江戸川右岸端ヨリ羽田燈標ノ東南東 1 哩ノ點ニ引キタル一線ト該點ト羽田燈標ヲ貫ク一線トニ依リテ圍マレタル區域トセラレタリ	
51	9	西側ニハ	以下 樹ヲ 迄ヲ次ノ通改ム
		兩側ニハ右舷浮標 7 箇(内 1 箇ハ挂燈浮標)、左舷浮標 9 箇(内 1 箇ハ挂燈浮標)ヲ以テ	
51	10	然トモ	以下 少カラス 迄ヲ削除ス
51	14	品川挂燈浮標ノ東方約 280 米	ヲ 舊第 2 砲臺南南東方約 2,500 米 ト改ム
51	16至 18	錨地	ノ記事ヲ削除ス
51	19至 24	假設繫船浮標	ノ記事ヲ次ノ通改ム
		繫船浮標 埠頭事務所屋上信號竿ヨリ 40 度 30 分 1,025 米ニ在ル第 1 號繫船浮標ト同信號竿ヨリ 165 度 1,100 米ニ在ル第 12 號繫船浮標トノ間ニ第 1 號乃至第 12 號ノ 12 箇ノ繫船浮標アリ	
52	10	築地	ノ次ニ 水上 ヲ追加ス
52	11次	次ノ通追加ス	
		鐵道用可動橋 芝浦日之出町北側河口ニ鐵道用可動橋アリ可動橋下水路ノ通航ニ關スル信號ハ次ノ如シ	
		信 號 意 義	
		可動橋ニ紅光燈(6 箇)ヲ點ジ可動橋ノ北方	

頁	行	記	事
		信 號	意 義
		及南方ノ信號燈ニ閃紅光燈ヲ點ジ電鈴振鳴	通航ヲ禁止中
		可動橋ノ南北兩側ニ綠光燈2箇宛ヲ點燈	通航差支ナシ
52	19	舊第4砲臺	ヲ品川町洲崎ト改ム
53	14次	次ノ通追加ス	
		飛行場	立會川口南方附近ニ中島飛行機製作所ノ建設ニ係ル 水上飛行場アリ○羽田東方埋立地ニ東京飛行場アリ
54	6次	次ノ通追加ス	
		障碍物	姉ヶ崎驛西方ニ魚蝦誘集ノ爲(昭和7年6月21日迄)割石及赤土等ヲ混入シタル土俵ヲ沈置セリ最低低潮時水深5米 盤洲鼻北方ニ人工魚礁試験ノ爲廢驅逐艦ヲ艦首ヲ北北東方ニ向ケ沈置シ漁業用築磯ヲ設置セリ 盤洲鼻南西方ニ漁業用紅塗圓筒形浮標3箇アリ
54	13	岩ヶ崎ニモ私設燈臺アリ	ヲ削除ス
58	13	四角形木造	ヲ圓形混凝土造ト改ム
58	15	八角形木造	ノ次ニニシテ明弧中94.5至103.5度間ハ大根島ニ遮蔽セラルル部分アリヲ追加ス
58	15至16	八角形	ヲ四角形混凝土造ト改ム
59	15次	次ノ通追加ス	
		又伊豆南岸ニ於テハ主トシテ大島ノ御神火(ゴジンカ)即チ噴煙ニ依リテ次ノ如ク天氣ヲ豫知スト謂フ	
		(1) 大島ノ噴煙多ク濃キトキ	「ナライ」(北東風)ガ吹ク
		(2) 噴煙淡キトキ	雨模様
		(3) 噴煙對岸(相豆地方)ニ向フトキ	一兩日中ニ必ズ雨トナル
60	3	200米	以下ヲ次ノ通改ム

頁	行	記	事
		250米ノ防波堤アリ其ノ外端ニ白塗圓形混凝土造ノ燈臺ヲ設置ス	
60	12次	次ノ通追加ス	
		水底電線	神奈川縣三浦郡初聲村ト大島元村間及鎌倉郡鎌倉町ト小笠原島間ニ水底電線アリ
60	19次	次ノ通追加ス	
		暗岩	稻村ヶ崎ヨリ179度1.3湮ニ水深11.6米ノ孤立尖岩アリ「ハイコシ」根ト謂フ○「ハイコシ」根ヨリ65度2.2鏈ニ水深20米ノ岩アリ「ツブ」根ト謂フ○「ツブ」根ノ北西方約0.8鏈ニ水深20米ノ箇所アリ○「ハイコシ」根ヨリ88度7鏈ニ水深13.5米孤立尖岩アリ日暮ノ大根ト謂フ
61	10至11	熱海町	以下ヲ削除ス
61	28至	町ノ中央	以下馬車ノ便アリ迄ヲ熱海驛トノ間ニ自動車ノ便アリト改ム
62	1		
62	4次	次ノ通追加ス	
		暗岩	高根山頂ヨリ88度1.8湮ニ水深6.4米岩アリ
62	5	川津村	ヲ河津村ト改メ間伏浦以下ヲ次ノ通改ム
		元村及河津村ト新島ノ本村トノ間ニ各1條ノ水底電線アリ	
62	18	高17.5米	以下ヲ次ノ通改ム
		犬走島ト共ニ好目標ヲ爲ス○辨天島ハ白色ヲ呈シ錨地ニ到ル好目標ナリ	
62	22	約200米ノ處ヨリ	ヲ約1.5鏈ノ處ヨリ辨天島ニ向首シト改ム
64	4次	次ノ通追加ス	
		漁業用沈置物	御前埼燈臺ヨリ57度30分16.8湮石花海ニ漁礁築設ノ目的ヲ以テ廢驅逐艦ヲ艦首ヲ南南西方ニ向ケ沈置シタリ、沈置物上ノ水深ハ47米ナリト謂フ
64	18	アルモ	以下ヲアリト改ム
66	4	暴露ス	ノ次ニ次ノ通追加ス

頁	行	記 事
		11 月至翌年 3 月迄ハ西風特ニ強シ
66	9	アリ ノ次ニ次ノ通追加ス 淡水ヲ辨ジ得ベク海上ニ給水装置アリ
66	27 次	次ノ通追加ス 水道ノ設備アリ淡水ヲ辨ジ又製氷會社アリテ年中水ヲ供給ス
67	16	及鹽久津ノ 2 ヲ削除ス
68	9至 10	川口ハ 以下 過キス 迄ヲ次ノ通改ム 川口ヨリ永代橋ニ至ル航路ヲ低潮面下 2.1 米ニ浚渫シ鯉漁船ノ出入ヲ自由ナラシメタレドモ土沙ノ堆積ニ伴ヒ特ニ川口ハ常ニ水深減少ノ傾向アルヲ以テ注意ヲ要ス、西風強吹スルトキハ川口ノ波高く出入極メテ危険ナリ
68	12	190 米 ヲ 300 米 ト 100 ヲ 200 ト改ム
68	15至 16	又狩野川ハ 以下ヲ次ノ通改ム 此處ニ泊スルモノハ概ネ河水ヲ飲料ニ供ス
69	7	巴川口 以下 黑色煙突 迄ヲ削除ス
69	9	單松 ノ次ニ 同松ノ北東方約 500 米ニ在ル火見櫓 ヲ加フ
69	14	1.07 ヲ 1.17 ト 32 ヲ 50 ト改ム
69	15	347° 0.41 哩 以下ヲ次ノ通改ム 約 337 度 0.4 哩ニ在ル煙突上 紅色電燈高サ平均水面上 18 米
69	16	次ノ通改ム 假設導燈 折戸灣南方宮加三ニ假設導燈(不動紅光)アリ夜間入港船舶ノ岸壁繫留用ニ供セラル
69	21	8,000 噸級以上 2 隻 ヲ 20,000 噸級 2 隻、8,000 噸級 1 隻 ト改ム
69	22至 23	川口ヨリ 以下ヲ次ノ通改ム 其ノ一部川口ヨリ 237 米ハ鐵道用石炭陸揚場トナシ前面ヲ低潮面下 7.3 米ニ浚渫シ 3,000 噸級 2 隻ヲ繫留シ得ル如クシ別ニ其ノ南方ニ民間ノ木材置場ヲ築造シ尙貝島北方埋立地ト三保トノ間ニ築

頁	行	記 事
		堤及浚渫ヲ行ヒ漁船ノ繫留場ニ充テントシテ目下工事中ナリ
69	24至 25	大正 15 年 ヲ 昭和 7 年度 ト改ム
71	23	其ノ中央ニ地方暴風標アリ ヲ次ノ通改ム 又無線電信所アリ 200 哩以内ニ於ケル漁船ト交信ス、電柱ハ高サ 30.5 米鼠色塗鐵造格子形ニシテ前柱上ニ町立燈臺及地方暴風標アリ、後柱ニハ電働「サイレン」アリ非常警報用トシ平時ニ在リテハ午前 6 時及正午ノ報時用ト爲ス
72	11	元ノ鼻 ヲ 元根鼻 ト改ム
74	13至 14	大山ヲ 以下ヲ次ノ通改ム 大山ヨリ 158 度約 5 哩及同山ヨリ約 230 度 5.2 哩ニ沈船アリ
74	20	航路標識 ノ次ニ次ノ通追加ス 伊良湖埼燈臺ハ伊良湖埼古山ノ西方ニ在リ白塗圓形混凝土造○
76	18	アリ ノ次ニ次ノ通追加ス ○豐濱港燈竿ハ豐濱町附近ニ在リ木造竿塗裝セズ○中洲導燈ハ中洲附近ニ在リ前燈ハ木造竿塗裝セズ、後燈ハ四角形混凝土造ニシテ 2 燈一線ニ望ミ進航セバ附近ノ暗礁ヲ避クルコトヲ得○山海川口燈竿ハ知多半島西岸内海町山海川口ニ、内海川口燈竿ハ同町内海川口ニ在リ何レモ木造竿塗裝セズ
76	20	西端水深 18 米ノ處 ヲ 北方約 3.5 哩ノ處 ト改ム
76	21至 23	東西兩突堤 以下 四角形木造 迄ヲ次ノ通改ム 中川口燈竿、築地燈臺、棧橋端燈竿、東突堤中央水路東側燈臺同西側燈臺、東突堤頭部燈臺、西突堤燈臺アリ又浚渫航路ヲ示明スル爲内港ニ 6 箇外港ニ 4 箇ノ挂燈浮標及數箇ノ浮標ヲ碇置シ航路標識完備ス○富洲原港燈竿ハ富洲原港埠頭ニ在リ富洲原漁業組合ノ設立ニ係ル○四日市港ニハ防波堤外端ニ防波堤燈臺、築港事務所附近ニ導燈アリ又防波堤燈臺ノ北西方約 3.9 鏈ニ挂燈浮標ヲ碇置ス
76	23	ノ末尾ニ次ノ通追加ス

頁	行	記事
		◎土路西條燈竿ハ川口附近ニ在リ白塗木造◎神社港北突堤上ノ東西及中央ニ3箇ノ燈竿アリ東燈竿ハ紅塗四角形混凝土造、中央燈竿ハ白塗四角形混凝土造、西燈竿ハ白塗四角形混凝土造
78	16至18	ノ竣成ヲ告ケ 以下ヲ次ノ通改ム 及第3期工事ノ竣成ヲ告ゲ 10,000 噸級船舶ノ出入ヲ自由ナラシムルニ至レリ尙目下昭和2年度ヨリ向7箇年ノ繼續事業トシテ第4期浚渫擴張工事中ナリ
78	21至22	北方 以下 燈竿アリ 迄ヲ削除ス
78	22至23	目下工事中ノ築地7號地 ヲ 築地8號地(貯木場) ト改ム
78	24至25	東側ハ 以下 ナリ 迄ヲ次ノ通改ム 何レモ白塗圓筒形上部櫓形鐵造ナリ
78 79	27至1	モノナリ 以下 工事中ナリ 迄ヲ次ノ通改ム モノナレバ水面上ニ露出スルコトナシ此ノ防沙堤ノ北部7.5鍾ハ防波堤ニ改造シ北端即チ東突堤ノ西端ニ紅塗圓筒形上部櫓形鐵造燈臺アリ、南端ニハ立五形頭標附紅白橫線塗圓柱立標アリ而シテ防沙堤ノ部分ニハ其ノ最南端及中央部ニ菱形頭標附黑白橫線塗圓錐形浮標ヲ碇置ス
79	2至4	外港航路 ノ記事ヲ次ノ通改ム 外港航路 長サ約3浬幅250米水深8.5米ニ浚渫セリ航路ノ中央線ハ築地6號地東邦電力發電所煙突(2基)ノ東方ニ在ル豊國セメント會社煙突ニ向ヒ其ノ方位ハ31度10分ナリ、此ノ航路入口南端及中央ニ各一對ノ挂燈浮標ヲ碇置ス、西側1號及3號ハ黒塗圓筒形ニシテ東側2號及4號ハ紅塗圓筒形ナリ
79	5至6	約73米 以下 工事中ナリ 迄ヲ次ノ通改ム 約136米水深8.5米ニ浚渫セリ
79	7	西側 ヲ 兩側 ト改ム
79	10至15	導燈 ノ記事ヲ削除ス

頁	行	記事
79	16至23	ヲ略3列ニ 以下ヲ次ノ通改ム 22箇ヲ略3列ニ碇置ス現時收容シ得ベキ汽船數ハ 10,000 噸級 2隻7,000 噸級 1隻、4,000 噸級 2隻、3,000 噸級 4隻、2,500 噸級 10隻2,000 噸級 2隻、1,000 噸級 17隻合計 38隻外ニ棧橋繫留 2,500 噸級 2隻ナリ、此ノ船溜ハ殆ド4.5乃至10米ニ浚渫セラレタリ、第4期工事完成ノ上ハ 10,000 噸以上 10隻、5,000 噸以上 11隻、1,000 噸以上 25隻、500 噸以上 6隻合計 52隻ヲ同時ニ碇泊セシメ得ベシト謂フ◎内外港共底質ハ一般ニ軟泥ニシテ錨搔キ良好ナリ◎木材搭載船ヨリ荷揚ノ際過テ海中ニ墜落セル木材ハ比重ノ關係上水面下ニ浮游スルコトアリト謂フ
79	25	其ノ兩側 以下 便ス 迄ヲ 兩側水深6乃至8米 ト改ム
79	27至28	7號地ニ區分ス 以下 ニ屬ス 迄ヲ次ノ通改ム 10號地ニ區分ス 8號地ハ貯木場ニシテ其ノ前面ハ木材整理所ナリ、9號地ハ危險物取扱地ニシテ其ノ埋立ヲ終リ目下諸設備ノ工事中ナリ又 10號地ハ目下埋立工事中ニ屬ス
80	3至6	水先 ノ記事ヲ次ノ通改ム 水先及之ニ關スル規定ハ5頁ヲ見ルベシ
81	4	東築地 以下 有ス) 迄ヲ削除ス
81	5至6	導燈 以下 化學肥料會社煙突 迄ヲ削除ス
81	7	ニ適ス ノ次ニ次ノ通追加ス ◎外港ニテハ知多郡名和村單松(高サ49米)及其ノ南西方ニ在ル聚樂園大佛(高サ48米)ハ遠望顯著ナリ又新舞子海水浴場ニ在ル娛樂用鐵製ノ塔ハ高サ30米ニシテ南北ノ方向ヨリ顯著ナリ
81	8	棧橋派出所構内 ヲ 屋上 ト改ム
82	21	シ目下 以下ヲ セリ ト改ム
82	22至25	水深7.5米 以下 標示ス 迄ヲ次ノ通改ム ノ浚渫區域及航路ハ多數ノ浮標及1箇ノ挂燈浮標ヲ以テ之ヲ標示

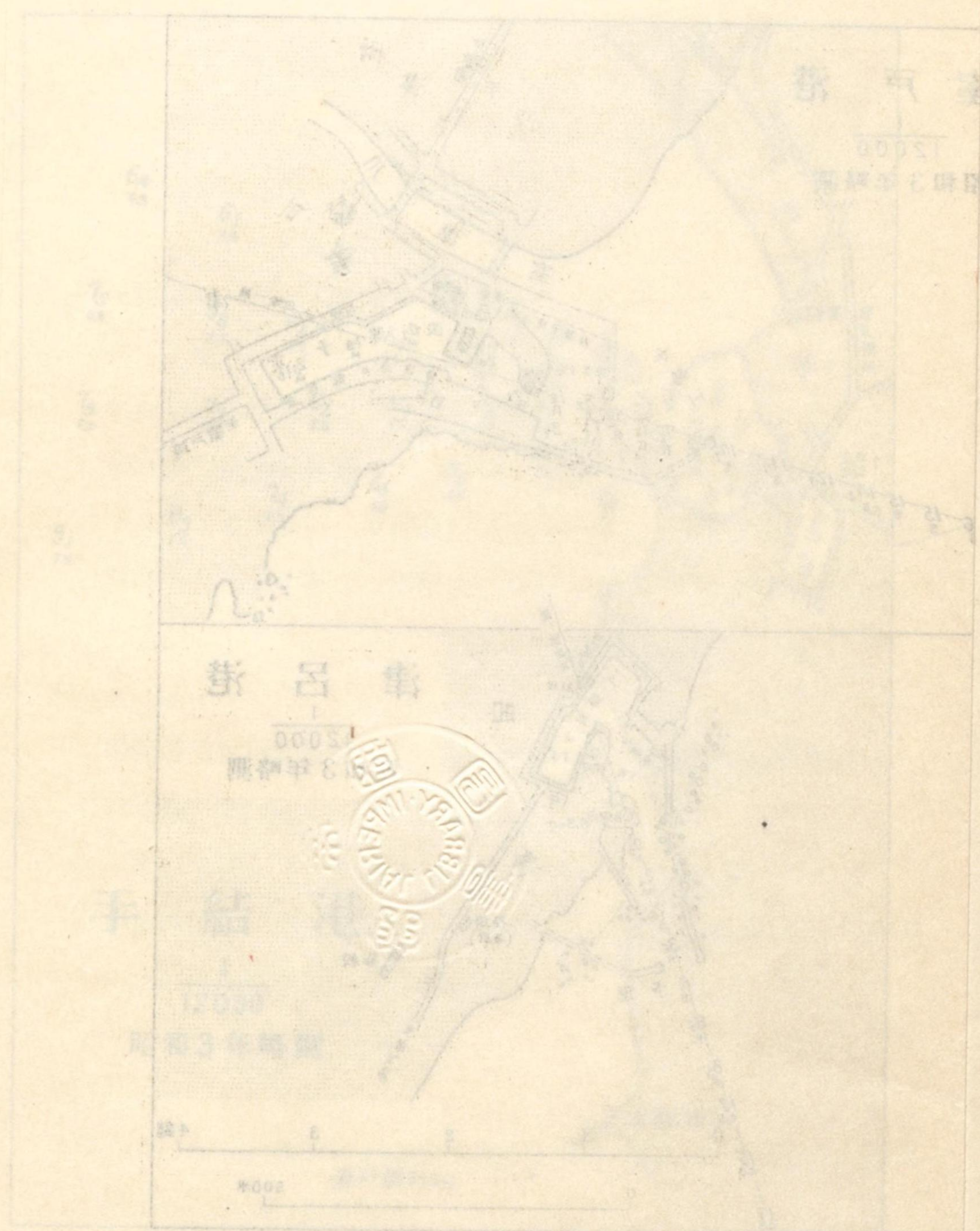
頁	行	記事
		シアリ、防波堤燈臺附近ヨリ船溜ニ至ル海面ハ水深9.6米ニ浚漉濟、3番、4番及5番ノ繫船浮標ヲ連結スル北方海面ハ水深8.3米ニ浚漉濟、低燈ノ南方海面ハ水深8.7米ニ浚漉濟、夫ヨリ北方ニ至ル埋立地西側ノ狹水路ハ1.5米ニ浚漉濟ナリ
82	25	4 ヲ 8 ト改ム
82	26	7.5米 ヲ 8.3乃至9.6米 ト改ム
83	1	必要アリ ヲ 必要ナシ ト改ム
83	1至3	防波堤ニ沿ヘル 以下ヲ削除ス
83	9至13	四日市突堤燈竿、四日市燈臺、四日市港假設掛燈浮標、導標ノ記事ヲ次ノ通改ム
		防波堤燈臺 防波堤外端ニ設ク上部櫓形鐵造下部白塗六角形混凝土造
		導燈 前燈ハ檢疫所南方ニ在リ紅塗四角形櫓形鐵造、後燈ハ前燈ノ西方約460米ニ在リ黒塗四角形櫓形鐵造ニシテ2箇縦掲ス、前後3燈ヲ一線約276度ハ入港航路ヲ指示ス
		掛燈浮標 防波堤燈臺ノ北西方約3.9鏈ニ在リ紅塗圓筒形上部櫓形鐵造ニシテ港内浚漉區域ヲ標示ス
		水先 水先及之ニ關スル規定ハ5頁ヲ見ルベシ
83	16至17	大井ノ川 以下 1,700米 迄ヲ次ノ通改ム
		防波堤燈臺、導燈、海員掖濟會支部家屋、税關北西方約260米
85	11次	次ノ通追加ス
		沈船 汽船榮久丸(114噸)ハ神社港突堤ノ北方約6湮ニ於テ昭和6年3月24日沈没セリ、爾後同附近ヲ搜索セシモ船體ヲ發見スルニ至ラズト謂フ
85	26次	次ノ通追加ス
		水先 三河灣出入船舶ノ爲ニ三河灣水先人組合ハ下記ノ通水先營業ヲ爲スト謂フ

頁	行	記事
		水先船定繫場ハ師崎港ニシテ水先人乗船地點ハ特ニ指定ナキ場合ハ知多半島端師崎沖ナリ、晝夜ニ關セズ要求ニ應ズレドモ水先船ノ出動及師崎水道ノ漁船輻輳ニ對シ整理ノ都合等ニテ多少ノ時間ヲ要スルニ付相當ノ餘裕ヲ以テ半田町三角合名會社淺野信治商店内事務所宛通知ヲ要望スト謂フ
		水底電線 師崎町ト日間賀島間ニ水底電線アリ
87	15次	次ノ通追加ス
		航路標識 前芝燈竿ハ豐川口北岸ニ在リ白塗木造竿◎矢崎川口燈竿ハ矢崎川口東岸端ニ在リ木造竿
87	19	ニハ川口附近ノ西側ニ標杭アリ ヲ ハ ト改ム
87	28	ノ末尾ニ次ノ通追加ス
		◎琵琶島ノ西角ヨリ346度30分5.2鏈ニ暗岩(水深0.6米)存在スト謂フ
88	12	航路標識ノ次ニ次ノ通追加ス
		矢作古川口西側ニ千間燈竿アリ、2箇縦掲、木造竿柱塗裝セズ◎沖南方ニ眞野燈竿アリ、2箇縦掲、木造竿柱塗裝セズ◎酒手島南西方約4鏈海岸ニ西高燈竿在リ三角形櫓、鐵造塗裝セズ◎
88	12次	次ノ通追加ス
		◎一色町ノ北西方1.5湮ニ榮生燈竿アリ白塗三角形櫓、鐵造◎蜷川北岸ニ蜷川燈竿アリ木造竿◎堀川北岸突堤ニ堀川燈竿アリ木造竿◎小垣江北方0.5湮ニ小垣江港燈臺アリ四角形石造
88	15	次ノ通追加ス
		◎大井港口北側ニ圓錐形頭標附紅塗圓柱、土管覆混凝土造立標アリ
		沈船 大濱地方暴風標ノ西方約1湮ニ2橋及船橋樓ヲ水面ニ露出セル沈船アリ
89	3次	次ノ通追加ス

頁	行	記事
		水底電線 知多郡龜崎町ト碧海郡高濱町間ニ水底電線アリ
89	9	半田町及 ヲ削除ス
89	10次	次ノ通追加ス
		半田港霧標 半田港ニ霧筋右端標示ノ爲第2號、第4號、第6號、第8號、第10號、第12號ノ6箇ノ紅塗圓錐形頭標附四角形混凝土造霧標アリ
90	9	鏡石 ヲ石鏡島 ト改ム
90	13	濃鼠色 ヲ白色 ト改ム
90	17	ニ見ユ ノ次ニ次ノ通追加ス
		○鳥羽港導燈低燈ヨリ343度20分110米ニ給水用槽アリ、灰白色ニシテ晝間遠望顯著ナリ
90	20至21	城山ノ 以下 略同高ナリ 迄ヲ削除ス
90	23次	次ノ通追加ス
		架空線 管島西端ト阪手島東端間ニ高サ高潮面上 39 米、阪手島南端ト本陸間ニ高サ高潮面上 42 米及答志島西端ト日向島間ニ高サ高潮面上 45 米ノ海上架空線アリ○阪手島ト本陸間及答志島ト日向島間ノ架空線ハ前記載ノ高サヨリ若干低キ疑アリ大形船舶ハ航行ノ際注意ヲ要ス
92	26	鏡石 ヲ石鏡島 ト改ム
93	6	ナリ ノ次ニ次ノ通追加ス
		○棧橋先端ニ電燈アリ
93	9至13	鳥羽造船所 ノ記事ヲ削除ス
93	25, 26	ヲ削除ス
93	26次	次ノ通追加ス
		航路標識 安乗埼燈臺ハ的矢港口ニ在リ白塗八角形木造○安乗村燈竿ハ辨天埼端ニ在リ鼠色塗圓柱鐵造
95	25	ニシテ ノ次ニ 埼ノ南端ニ燈臺アリ ヲ追加ス

頁	行	記事
98	2至3	小島燈臺 以下 設ク白塗圓形石造 迄ヲ次ノ通改ム
		大王埼燈臺ハ埼ノ南端ニ在リ白塗圓形混凝土造○波切港防波堤燈臺ハ北防波堤頭部ニ在リ白塗圓形混凝土造○小島燈臺ハ白塗六角形鐵造○尾鷲港ニ防波堤燈臺、北口第1號燈竿及北口第2號燈竿アリ○三木埼燈臺ハ白塗圓形混凝土造○鶴島燈竿ハ島頂ニ在リ白塗木造○梶取埼燈臺ハ白塗圓形混凝土造○檜野埼燈臺ハ白塗圓形石造○苗我島燈臺ハ島頂ニ在リ紅塗四角形格子製檣形鐵造
98	13	目下小規模ノ築港工事中ナリ ヲ次ノ通改ム
		小規模ノ築港ヲ爲セリ○北防波堤頭部ニ燈臺アリ
98	14	地方暴風標アリ ノ次ニ次ノ通追加ス
		又其ノ南端ニ燈臺アリ
101	21次	次ノ通追加ス
		航路標識 尾鷲港防波堤燈臺ハ防波堤南端ニ在リ紅塗圓形混凝土造○同北口第1號燈竿ハ防波堤北端ニ在リ白塗四角形混凝土造○同北口第2號燈竿ハ突堤南端ニ在リ紅塗四角形混凝土造○三木埼燈臺ハ埼上ニ在リ白塗圓形混凝土造
102	4至5	築造工事中 ヲアリ ト改ム
106	9次	次ノ通追加ス
		水底電線 大島ト本陸トノ間ニ水底電線2條アリ
		架空線 大島西端ヨリ苗我島ヲ通り本陸ニ至ル海上架空線アリ、高サ高潮面上 37.5 米
106	25至26	顯著ナル 以下 光達4湊 迄ヲ次ノ通改ム
		島頂ニ燈臺アリ
107	2至3	串本町 以下 好目標ナリ 迄ヲ次ノ通改ム
		重山ハ富士山頂ノ如キ形ヲ成ス好目標ナレドモ大島南方1湊以内ニ近ヅケバ大島ニ遮蔽セラル○串本町天測點ノ165度約2鏈ニ在ル丘ハ形狀瓢箪ノ如クニシテ樹木ニ蔽ハレ顯著ナリ

頁	行	記 事
109	10	安全ナリ ノ次ニ次ノ通退加ス ◎室戸埼、須崎港間ニハ安藝町南方距岸約1哩ニ高碇水深2.3米ノ淺瀬及浦戸港口北東方約2哩ニ三本松水深5.2米礁アリ
109	11	2米 ヲ 2.4米 ト改ム
109	12	ナリ ノ次ニ次ノ通退加ス ◎志和埼東方距岸約1哩ニ淺碇水深13.9米、五在所森山ヨリ約122度3.9哩ニ水深4.2米礁、同山ヨリ約132度3.3哩ニ水深17米礁及同山ヨリ128度3哩ニ水深20米礁並ニ一礁高サ7.1米岩アリ、伊ノ岬端ヨリ約33度2.6哩ニ水深20米礁及同岬ヨリ約231度4.3哩ニ「ナイダノシ」水深17米礁アリ
109	16	18.2米 ヲ 18米 ト改ム
112	5	八 ヲ 六 ト改ム
112	5	煉瓦造 ノ次ニ次ノ通退加ス ◎丸山臺燈竿ハ鏡川口丸山臺南方ニ在リ混凝土造上部圓柱木造
114	6	ヌキガサ ヲ キヌガサ ト改ム
114	19次	次ノ通退加ス 佛岩ノ鼻及黒埼ニ三角形頭標附白塗立標ノ頂上ニ不動白光ヲ點ズル各2燈標アリ、4燈標ヲ一線ニ見テ航進セバ深所ヲ導ク
115	19次	次ノ通退加ス 港口西側ニ大阪商船發着所並ニ旗竿アリ
115	22	ト接ス ノ次ニ次ノ通退加ス 灣首城山ヨリ約91度280米ニ0.4米及同約110度380米ニ1.8米ノ暗礁アリ
118	19	津呂及室津 ヲ 室戸岬町及室戸町 ト改メ 室津ニ ヲ削除シ 暴風標アリ ノ次ニ次ノ通退加ス ◎津呂港ハ築港(基本水準面下1.8米ニ浚渫)ノ竣功近キニ在リ、人口5,546(昭和2年末調)、野中兼山ノ開鑿セル所ナリ(附圖參



事

町南方距岸約1哩ニ高嶺水深2.3米
三本松水深5.2米礁アリ

水深13.9米、五在所森山ヨリ約
同山ヨリ約132度3.3哩ニ水深17
水深20米礁並ニ一礁高サ7.1米岩ア
6哩ニ水深20米礁及同岬ヨリ約231
水深17米礁アリ

南方ニ在リ混凝土造上部圓柱木造

附白塗立標ノ頂上ニ不動白光ヲ點ズ
線ニ見テ航進セバ深所ヲ導ク

ニ旗竿アリ

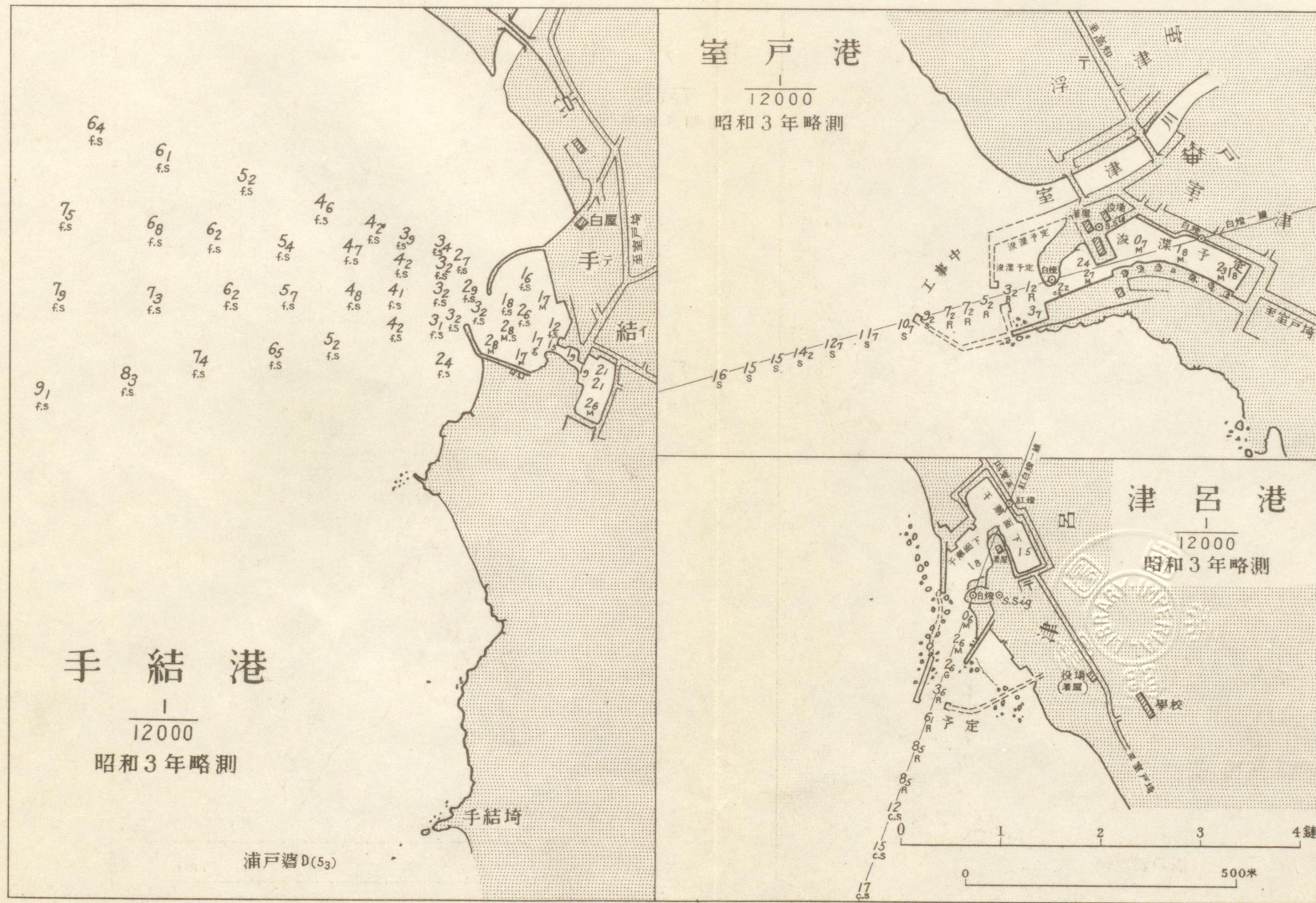
ニ0.4米及同約110度380米ニ1.8

室戸町ト改メ室津ニヲ削除シ

加ス

下1.8米ニ浚渫ノ竣功近キニ在リ、

野中兼山ノ開鑿セル所ナリ(附圖參





頁	行	記 事
		照) ◎室戸港ハ東部土佐漁業ノ中心ヲ爲シ目下修築工事中ナリ、人口 7,311 (昭和 2 年末調)、町ハ室津、浮津ノ兩津ヨリ成ル、大阪、須崎間ノ定期船寄港ス、寺山ハ町ノ中央ニ位シ入港ノ好目標ナリ (附圖参照)
118	24 次	次ノ通追加ス 沈船 神ノ峯ノ西方約 2.9 湮ニ沈船アリ 手結港(テイ) 漁港ニシテ築港ス、高知鐵道ハ後免ヨリ通ジ更ニ安藝町ニ至ル(附圖参照)
118	26	ス ノ次ニ次ノ通追加ス 上龍頭埼ハ東方ニ延ビ其ノ北端ニ沖ノ碇(高サ 2.2 米)アリ
118	對面	津呂、室戸、手結港 ノ圖ヲ挿入ス
119	2	北邊ニ地方暴風標アリ ヲ次ノ通改ム 城山頂ニ地方暴風標アリ◎龍頭埼燈臺ノ北東方約 350 米ニ銅像アリ白色ニシテ晝間一見燈臺ノ如ク見ユ又其ノ對岸種崎沿岸ニ白色著屋アリ海上十數湮ヨリ望見シ得共ニ浦戸港出入船舶ノ好目標ナリ◎
119	7 次	次ノ通追加ス 艦船速力試験距離標 浦戸灣内ニ漁船用速力試験標柱アリ
119	10	郵便局アリ ノ次ニ次ノ通追加ス ◎灣口宇佐、井ノ尻間ニ架空線アリ高サ高潮面上約 22 米 宇佐港 浦ノ内灣口ニ位スル漁港ナリ、人口 5,679 (昭和 2 年調) 高知棧橋間ニ定期發動機船通ズ
119	13	2 米 ヲ 2.4 米 ト改ム
119	16	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎港口沖ニ宮崎出シ、カラワ出シ、カセガ瀬、平瀬及沖ノシ等水深 20 乃至 29 米礁アリ
119	19	ノ末尾ニ次ノ通追加ス

頁	行	記 事
		又神島ハ尖頂ヲ有シ頗ル顯著ニシテ一子落避航上有効ナリ
119 120	27 至 1	須崎町 以下ヲ次ノ通改ム 須崎町市街前面海岸ニ無線電信柱アリ○埋立完成シ商船棧橋ハ水深6米ニシテ汽船ノ横着可能ナリ又水道モ完成シ棧橋横着給水可能ナリ、土佐同盟汽船會社ノ大阪トノ定期船ハ毎2日ニ發航ス○人口 9,035 (昭和2年調)鐵道ハ高知ニ通ズ○市街西方ニ地方暴風標アリ
120	7	榎本ダシ(1.8 米礁) ヲ 角谷出シ(1 米礁) ト改ム
120	14	(海圖 105) ヲ 削除ス
120	15	1.8 米 ヲ 1.4 米 ト改ム
120	17	ノ末尾ニ (附圖參照) ヲ 追加ス
120	20	大雨 以下 アリ 迄ヲ次ノ通改ム 大雨アルトキハ河口ヲ開キ船舶ヲ通ズルモ東風強吹スルトキハ河口ヲ塞グコトアリ
120	22	暴風標アリ ノ次ニ (附圖參照) ヲ 追加ス
120	對面	上ノ加江、下田港 ノ圖ヲ挿入ス
125	23	120 米 ヲ 20 米 ト改ム
126	3	暴風標アリ ノ次ニ 同標挂ニ不動白光(50燭光電燈)ヲ點ジアリヲ追加ス
126	18	6 米 ヲ 5.9 米 ト改ム
129 至142		第5編 九州東岸 ハ九州沿岸水路誌ニ挿入セラレタルヲ以テ削除ス
146	14	沖ノ雁股 ヲ 一ツ碇 ト改ム
147	18	海圖 62 ヲ 削除ス
152	13至 14	○八幡埼 以下 セリ 迄ヲ削除ス
153	10 末	次ノ通追加ス ○岩和田角ノ東北東約9浬ニ最小水深 12 米ノ器械根アリ、附近



事

著ニシテ一子落避航上有効ナリ

電信柱アリ◎埋立完成シ商船棧橋ハ水
能ナリ又水道モ完成シ棧橋横着給水可
ノ大阪トノ定期船ハ毎2日ニ發航ス◎
道ハ高知ニ通ズ◎市街西方ニ地方暴風

自谷出シ(1米礁)ト改ム

加ス

通改ム

船舶ヲ通ズルモ東風強吹スルトキハ川

参照) ヲ追加ス

挿入ス

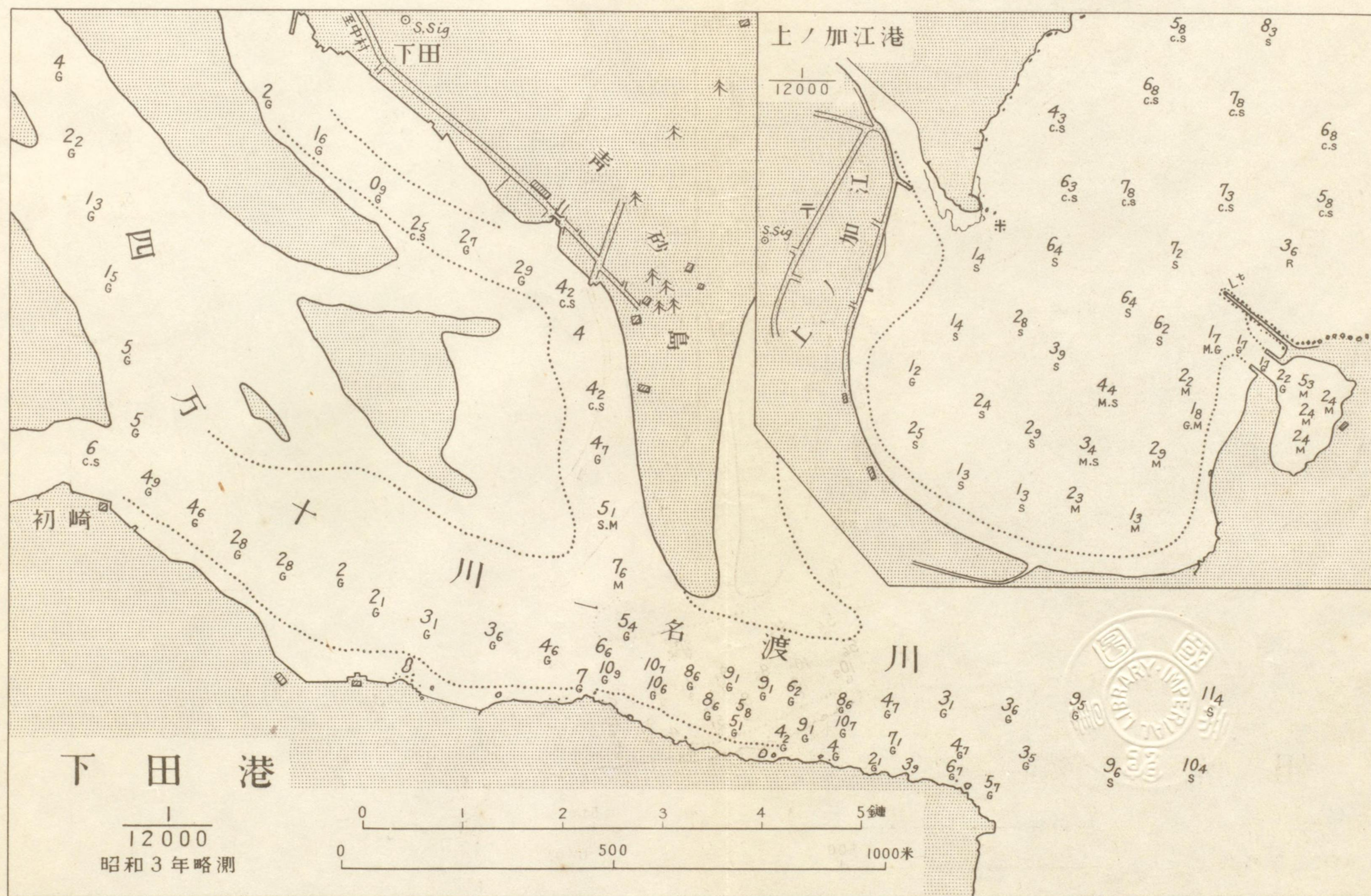
圭ニ不動白光(50燭光電燈)ヲ點ジアリ

沿岸水路誌ニ挿入セラレタルヲ以テ削

改ム

削除ス

ニ最小水深 12 米ノ器械根アリ、附近





頁	行	記事
		堆ハ北北東方ノ長サ約2湊幅約100米水深13乃至16米
153	24至26	而シテ 以下ヲ削除ス
155	3次	次ノ通退加ス
		波崎燈竿 利根川口北岸ニ在リ木造竿
155	11次	次ノ通退加ス
		水底電線 利根川口銚子町字長塚ト東下村字新堀間ニ水底電線アリ
		沈船 犬吠埼燈臺ヨリ332度30分5.9湊ニ船體ノ一部ヲ露出セル沈船アリ◎犬吠埼北方夫婦ヶ鼻無線電柱ヨリ10度30分3鐘ニ沈船アリ、船首ヲ南方ニ向ケ沈没シ低潮時ニ其ノ一部ヲ水面上ニ顯ハス
156	21	燈竿アリ ノ次ニ次ノ通退加ス
		◎綱取埼燈竿ハ館岡山ノ西南西方450米ニ在リ、木造竿柱
156	22至23	◎地藏島 以下 南界ヲ示ス 迄ヲ次ノ通改ム
		ニシテ霧笛アリ◎地藏島燈臺ハ島上ニ在リ白塗八角形石造◎鹽竈港導燈高燈ハ鹽釜神社東方ニ在リ白塗木造竿、低燈ハ高燈ノ東方ニ在リ白塗木造竿
156	24	ニ在リ白塗木造竿 ノ次ニ次ノ通退加ス
		◎黒埼燈臺ハ埼端附近ニ在リ白塗四角形檜形鐵造
157	24至25	ニ紅塗 以下 燈竿アリ 迄ヲ次ノ通改ム
		ニ上部紅塗圓形混凝土造燈臺、東端ニ白塗木造燈竿アリ
157	27	疎生ス ノ次ニ次ノ通退加ス
		◎防波堤(西端)燈臺ヨリ約308度1,560米及同燈臺ヨリ約299度1,960米ニ夫々煉瓦造ノ大煙突アリ好目標ナリ
158	16	14.6米 ヲ 14米 ト改ム
159	23	ハチガ ヲ ハチヤ ト 288.5 ヲ 289度 ト改ム
160	4至5	現在 以下 豫定ナリ 迄ヲ次ノ通改ム

頁 行 記事

現在泊地ニハ 1,000 噸級 3 隻、3,000 噸級 2 隻收容可能トナレル
モ港幅狭キヲ以テ舳艫竊泊ヲ必要トス尙築港完成ノ曉ニハ更ニ繫
船渠内ノ岸壁ニ 3,000 噸級 3 隻、1,000 噸級 4 隻ヲ繫船シ得ベ
シ

160 6至7 浚渫水道 ノ記事ヲ次ノ通改ム
浚渫水道 航路ハ石濱錨地附近ヨリ殆ド一直線ニ代ケ埼ニ至
リ少シク折レテ港内泊地ニ達スルモノニシテ其ノ延長 5,150 米、
幅 91 米、水深 6.7 米トシ港内泊地ノ水深ハ外方 7.6 米、内方 4.6
米タラシムルモノトス○浚渫水道ノ北半部ハ略豫定水深ニ達シ通
航差支ナキモ水先人ヲ乗船セシムルヲ安全ナリトス

160 8至9 之ト平行 以下 設ケ 迄ヲ次ノ通改ム
防沙堤ヲ設ケ一ハ馬放島ヨリ地藏島ニ至リ一ハ航路ノ南側ニ代ケ
埼多聞山下ヨリ略航路ニ平行シテ延長約 882 米ニ及ビ

160 10 ○港内 以下ヲ削除ス

160 11至13 代ケ埼 以下ヲ次ノ通改ム
鹽釜神社東方ノ 2 燈一線ハ代ケ埼以西ノ浚渫水道ノ中央ヲ導ク○
導燈ノ見通線上高燈ノ西方 17.6 米ニ地方暴風標アリ○第 1 號挂
燈浮標ハ地藏島燈臺ヨリ 100 度 30 分 2,440 米ニ在リ黒塗圓筒形
上部四角形櫓形鐵造、此ノ西側ニ暗礁(4.5 米)存在ス○「ミトノ」
根挂燈浮標ハ大平戸山ヨリ 208 度 1,630 米ニ在リ格子製四角形櫓
附紅塗圓筒形鐵造

163 16次 次ノ通追加ス
黒埼燈臺 埼端附近ニ在リ白塗四角櫓形鐵造

164 11次 次ノ通追加ス
漁網 宮重ネ礁附近南西方ニ毎年 5 月上旬ヨリ 8 月下旬迄ノ
間魚見櫓ヲ設置シ此ヲ中心トシテ南北ニ長サ 364 米、幅 73 米ノ
鮪大謀網ヲ主網トシ又宮重ネ礁ノ方向ニ長サ 1,454 米ノ垣網ヲ敷

頁 行 記事

設ス、主網兩端ニハ晝夜ノ別ナク白旗 1 箇宛ヲ掲ゲ夜間ハ周圍ヨ
リ見得ル白燈各 1 箇ヲ表示ス、垣網ニハ晝夜ノ別ナク中央部ニ白
旗 1 箇ヲ掲ゲ先端ニ紅旗 1 箇ヲ掲グト謂フ故ニ網地島附近通航船
舶ハ注意スルヲ要ス

164 14次 次ノ通追加ス
暗岩 金華山水道ノ略中央部即チ駒ヶ峯(324)ヨリ 121 度 20
分 2,010 米ニ 3.9 米及同 126 度 2,100 米ニ 3.6 米ノ暗岩アリ

166 1至8 久慈灣 以下ヲ次ノ通改ム
野田灣内距岸約 5 鏈餘ニ 2 箇ノ暗礁アリ○久慈灣南角三埼附近ニ
ハ無數ノ岩礁遠ク擴延シ其ノ最外岩ハ岸ヲ距ルコト 5 鏈著岩ニシ
テ高サ 7.3 米鳥糞ノ爲白キヲ以テ白岩ト謂ヒ又鯰ノ群集スルヲ以
テ鯰岩トモ謂フ○八木村南角ヨリ小舟渡村ニ至ル沿岸海面ハ距岸
1 湮以内ニ數多ノ暗礁アリ此ノ附近沖合ハ距岸四、五湮迄海底極
メテ凹凸多ク時ニ陸岸ニ壓流セラルルコトアルヲ以テ注意ヲ要ス
○鮫角附近ハ無數ノ暗礁碁布散在シ危險ナリ、其ノ最外岩ヲ濱中
ト稱シ距岸 6 鏈ニ位シ礁上水深 10 米○物見埼ヨリ「クキドウノ」
埼ニ至ル間ニハ小澤根及田代根等數多ノ暗礁アリ、小澤根ハ尻勞
南方約 2 湮餘ニ在リ此ノ附近ハ一帶ニ南北ニ細長キ礁脈ノ隆起セ
ルモノニシテ其ノ最淺部 13.6 米、礁上一面ニ海草繁茂シ水色赤
色ヲ帯ビ附近ニ至レバ視認シ得ベシ、田代根ハ小澤根ノ南方約 5
湮距岸 1 湮餘ニ在リ南北ニ狹長ナル礁脈ニシテ最小水深 13 米海
草繁茂シ海水變色セリ○尻矢埼ノ東北東約 9 鏈ニ在ル大根ハ埼ヨ
リ延出セル險礁ノ外端ニシテ最淺部干出 0.2 米荒天ニハ破浪シテ
著シキモ平波ニハ破浪セザルヲ以テ危險ナリ

尻矢村村民ノ言ニ依レバ明治 40 年至大正 15 年間ニ於テ尻矢埼附近ニ遭難
セルモノ十數隻ニ及ビ而シテ其ノ殆ド全部ハ大根ニ擱挫沈没セルモノナル
ガ其ノ半數ハ濃霧若ハ風雪ニ依ルモ他ノ半數ハ好天無浪ノ日ニ遭難セルモ

頁	行	記事
		ノナリト謂フ 大根ハ近接スレバ海草繁茂シ水色赤色ヲ呈シ又荒天ニハ礁上破浪シ著シキ モ晴天無浪ノ際ニハ全ク浪立タズ且光線ノ加減ニテハ近接スルモ明瞭ナラ ザルコトアリ
167	1至2	廣田灣 以下 顯著ナリ 迄ヲ削除ス
167	8	ス ノ次ニ次ノ通追加ス ◎尾埼西方約 12 哩ニ在ル五葉山(1,341)ハ遠望顯著ナリ
167	16至21	宮古港北方 以下 ニ足ル 迄ヲ次ノ通改ム 宮古港北方ノ眞埼及明神鼻ハ共ニ高キ松樹密生シ黒色ヲ呈シ南北 ヨリ望メバ著シ◎宮古港口ヨリ西方約 10 哩ナル峠ノ神山(1,230) ハ其ノ南端頂タル龜ヶ森(1,110)ト共ニ著シ◎辨天埼ヨリ黒埼ニ 至ル間ハ峻峻ナル斷崖ノ大高角ニシテ角端ハ水深シ埼頂ヲ七ツ森 ト稱シ樹木繁茂シ黒色ヲ呈シ著シ◎野田灣ノ中央ニ在ル斷層ハ斜 ニ紅白ノ地層ヲ表ハシ稍著シ灣ノ南側米田村ノ丘上ニ白色大煙突 アリテ顯著ナリ◎野田灣ノ内方約 4 哩餘ニ和佐羅比山(814)アリ 樹木茂レル尖峯ニシテ識別シ易シ◎野田灣ノ内方遠ク遙ニ連立セ ル諸山中遠島山ハ衆峯ニ秀立セル尖峯ナルヲ以テ識別容易ナリ◎ 黒森山又目標トスルニ足ル◎三埼ハ久慈灣ノ南角ニシテ急峻ナル 一大高角ヲ爲ス角端ヨリ 5 鏈沖ナル鯉岩ハ遠望顯著ニシテ好目標 ナリ
167	22, 23	種市ヶ岳 ヲ 久慈平岳 ト改ム
167	25至28	同埼ヨリ 以下 認ム 迄ヲ次ノ通改ム 此ノ半島ヲ越エテ聳立スル釜臥山ハ遠ク沖合ヨリ目認スルヲ得
168	2	木造 ノ次ニ次ノ通追加ス ◎岩井埼燈竿ハ大島ノ對岸埼上ニ在リ鼠色塗三角形鐵造柱◎中根 燈標釜石港南中根上ニ在リ紅黒横線塗四角形櫓鐵造
170	12至13	礁上ニ 以下ヲ削除ス

頁	行	記事
170	15	岩嶼アリ ノ次ニ次ノ通追加ス ◎出島 188 米山ヨリ 129 度 45 分 635 米ニ街燈(電燈)アリ附近航 行船舶ノ好目標ナリト謂フ
173	3	椿島トノ一線ヲ保航セハ ヲ次ノ通改ム 椿島ノ北端トノ一線ハ舟形嶼及
173	25	低潮 ヲ 波濤強キ ト改ム
174	4次	次ノ通追加ス 航路標識 岩井埼燈竿ハ埼上ニ在リ鼠色塗三角形鐵造柱ニシ テ 2 燈ヲ横掲ス、氣仙沼入港船舶ハ 2 燈ヲ左舷ニ認メテ進航スベ シ◎大島燈竿ハ島ノ南端安波山頂ニ在リ白塗木造
174	8	高サ約 50 米ノ架空線 ヲ次ノ通改ム 架空線アリ其ノ垂下部ハ平均水面上 37.4 米ニシテ
174	12	ハ近ク開通スヘシト謂フ ヲ アリ ト改ム
178	18	5.4 米 ヲ 3 米 ト改ム
178	23	ナリ ノ次ニ 南中根上ニ燈標アリ ヲ追加ス
179	3至4	港内北岸 以下ヲ次ノ通改ム 夜間熔鑛放出ニ當リ火炎空ヲ燒クヲ以テ釜石港口沖合ヨリ同港ニ 入港セントスル船舶ニ對シ好目標ナリ
179	6至7	外端ノ 以下 得ヘシ 迄ヲ次ノ通改ム 幅 16.4 米ニシテ南側ニ 5 吨捲キ起重機 2 基ヲ設ク、棧橋外端 109.2 米間兩側共各 24 米ノ間ハ水深約 6.3 米ニ浚渫シ 7,000 吨 級船舶各 1 隻ヲ繫留シ得◎北棧橋南側ニ 2 箇ノ繫船、捲キ出シ兼 用浮標アリ(釜石鑛業所所有)
181	27	16 米 ヲ 10 米 ト改ム
185	對景圖	種市ヶ岳 ヲ 久慈平岳 ト 階上岳 ノ次ニ (種市ヶ岳) ヲ追 加ス
186	19	交フ ノ次ニ次ノ通追加ス

頁	行	記事
		ルモ四時巨濤岸ヲ嚙ミ良好ナル上陸所全クナシ、姉ヶ埼北方2湍ナル田老ハ灣形ヲ成シ灣首沙濱ニシテ着舟容易ナル如ク見ユルモ巨濤滾入シ磯波常ニ高ク上陸不可能ナリ
186	22	ヘカラス ノ次ニ次ノ通追加ス 海岸又破浪高ク上陸容易ナラズ
186	23	ノ末尾ニ次ノ通追加ス ◎灣ノ南濱大尻海岸ニ偏南東風時ノ好上陸所アリ
186	28	喬松茂リ ヲ 松樹粗生シ高サ 63 米 ト改ム
187	10至 12	海ニ面 以下 險礁トス 迄ヲ次ノ通改ム 久慈灣北角ヨリ2湍間及鮫角附近ハ嶮崖相連ルモ其ノ他ハ沙濱、礫濱ノ低濱ナリ◎海岸1湍以内ハ暗岩散在擴延シ海底亦凹凸甚シキ岩ナリ
187	16至 17	小艇錨地 ノ記事ヲ次ノ通改ム 小艇錨地 此ノ海岸ニ於ケル小艇錨地ハ八木ノミ此ノ地ハ小灣入ヲ成シ兩側ヨリ低岩陂沖ニ延出セル爲東方ヲ除ク他ハ2, 30 噸ノ發動機船ニハ安全ナル錨地ナリ◎八木港導燈ハ白塗竿ニシテ2 燈一線 237 度ニ望メバ港内ニ導ク
187	18	鮫港 ヲ 八戸港(鮫) ト改ム
187	21	1.4 米 ヲ 3.3 米 ト改ム
187	27	目標トス ノ次ニ次ノ通追加ス ◎鮫村東端山腹ノ無線電信柱、湊町沙濱ニ在ル消防署ノ尖塔、新井田川岸ノ2煙突(東方黒色、西方白色)ハ何レモ顯著ナリ
187	27	24.9 米 ヲ 29 米 ト改ム
188	1至 2	ヨリ好目標ナリ 以下ヲ次ノ通改ム 25湍ノ沖ヨリ認メ得ルト謂フ而シテ夜間河口浪高ク危険ノ場合ニハ白燈燈竿ヨリ南方120 米ニ在ル燈竿ニ紅燈3 箇ヲ縦掲ス◎鮫村西端丘上ニ水産學校アリ

頁	行	記事
188	3	航路標識 ノ記事ヲ次ノ通改ム 航路標識 北防波堤燈臺ハ蕪島基本水準標ヨリ 275 度 30 分 478 米ニ在リ白塗混凝土造圓錐形◎船入場防波堤燈臺ハ船入場防波堤北端ニ在リ紅塗圓形混凝土造
188	9至 10	淡水ハ 以下ヲ次ノ通改ム 淡水ハ村ノ東側蕪島渡橋附近ニ一良井アリ、夏季鐵管ニテ水船ニ引キ1 噸1 圓内外ニテ需ニ應ズルモ捕鯨ノ盛期ニハ供給困難ナルコトアリ、白銀濱東側三島川ハ道路ノ傍ニ湧出スル水量豊富ナル湧泉ナレドモ汲取不便ナリ◎村ノ西端ニ鮫驛アリ驛前ニ村立棧橋アリ潮時ニ拘ラズ端舟ノ達着容易ナリ。
188	11至 14	湊村 ノ記事ヲ次ノ通改ム 湊町 館鼻ノ背後新井田川畔ニ在ル邑ニシテ漁業盛ナリ◎此ノ地ハ新井田川ト馬淵川(マベチ)トノ合流點ニ當リ水稍深ク漁船ノ好避難所ニシテ常ニ漁船輻輳ス◎此ノ地方ニ於ケル海産物及薪炭ノ集散地ニシテ町ノ東丘ニ陸奥湊驛アリ 新井田川ノ下流湊町附近ヲ湊川ト謂フ、此ノ附近ニ於ケル漁船發動機船ノ好避難所トナリ居ルモ荒天激浪ノ際或ハ大雨出水等ニ當リ河口ヲ屢變轉ス◎此ノ河ハ水流急ナルト河口ニ於テ波浪ヲ横ニ受クル關係上稍浪高キトキハ危険多シ◎冬季雨量少キトキハ河内ノ水量減退シ遡航困難ナルコトアリ 小中野町 湊町ト橋ヲ隔テテ小中野町アリ人口約 6,000 湊造船鐵工所アリ◎町ノ北方ニ湊驛アリ
188	19	背ニス ノ次ニ次ノ通追加ス 此ノ沙濱ハ強風ノトキ沙塵ヲ捲キテ天ヲ覆ヒ大火ノ如キ觀ヲ呈スト謂フ
188	20 次	次ノ通追加ス 此ノ海岸ニハ多數ノ湖沼アルモ漁船ノ出入シ得ルハ小川原沼ノミ

頁 行 記 事

ナリ、附近諸沼ト共ニ冬季結水ス、其ノ時期ハ年ニ依リ多少ノ差違アルモ例年1月下旬ニ至レバ水溫著シク下降シ湖畔ヨリ結氷シ始メ遂ニ全沼凍結シ人馬ヲ通ズルニ至リ3月上旬ニ至レバ解氷シ始メ下旬ニハ全沼融解ス結氷期間ハ50日内外トス◎高瀬川ハ小川原沼ヨリ海ニ通ズル唯一ノ水路ニシテ其ノ河幅40米水深4米ナルモ河口ハ高潮時僅ニ4米内外ニシテ發動機船ノ出入困難ナリ

泊村 泊村ハ中山崎ノ南側ニ在ル小艇避泊地ナリ、稍彎入セル濱岸ノ兩側ヨリ沖ニ干出石陂斗出シ其ノ間ニ小澳ヲ形成ス、港口狹隘ナルヲ以テ浪高キトキノ出入ハ危険ナリ◎導燈アリ◎鮫角、尻矢崎間ニ於ケル好上陸所ナリ

白糠村 中山崎ノ北方2.5哩物見崎ノ西側ニ白糠錨地アリ、偏南風時ノ小艇ノ好避難地ナリ

189 14次 次ノ通追加ス

沈船 尻矢崎燈臺ヨリ61度30分1.1哩ニ沈船アリ

194 17 大島 ノ次ニ新島ヲ追加ス

194 18 信ハ ノ次ニ次ノ通追加ス

父島ニ海岸局ノ設アリ海上船舶間ト一般通信ヲ行ヒ又

194 18 及母島 ヲ削除ス

194 24至25 及青ヶ島ニ至ル諸島及 ヲ青ヶ島及鳥島ニ至ル諸島並ニト改ム

196 4 白塗 以下 燈臺アリ 迄ヲ次ノ通改ム
大島 燈臺アリ白塗四角形混凝土造ニシテ霧笛ヲ附設ス

196 11 雖南 ノ次ニ及西ヲ加ヘ11行次ニ次ノ通追加ス

水底電線 元村ト神奈川県三浦郡初聲村、静岡県賀茂郡河津村及千葉県安房郡西岬村間トニ各1條ノ水底電線アリ

198 25 本村泊地 以下 錨地ヲ挟ム 迄ヲ次ノ通改ム
本村ト静岡県賀茂郡河津村間ニ水底電線アリ

頁 行 記 事

214 20 及母島 ヲ削除ス

215 2 嫁島及嫁島 ヲ 媒島及嫁島 ト改ム

217 18 海圖 59 ヲ 海圖 49 ト改ム

218 7 存スルノミ ノ次ニ次ノ通追加ス

本錨地ハ當方面唯一ノ避難港ニシテ何レノ風向ニ對シテモ錨泊安全ナリ、唯南西乃至西南西風風力6以上ノ場合ニハ長濤ノ侵入ヲ見ルコトアルヲ以テ注意ヲ要ス

218 17次 次ノ通追加ス

燈竿 防波堤頭部ニ白塗竿柱木造燈竿アリ

219 7 ノ末尾ニ次ノ通追加ス

◎清水ハ少量ヲ得ベキモ質良好ナラズ

221 13 沖村港 ヲ 沖港 ト改ム

222 25 沖村港 ヲ 沖港 ト改ム

223 1, 11 沖村港 ヲ 沖港 ト改ム

223 5 ノ末尾ニ次ノ通追加ス

但シ定期船ハ北根ト中ノ平山ヲ結ブ一線上ニ於テ53米孤立岩ト鮫ヶ崎トヲ一線(323度)ニ望ム處ニ錨泊スレドモ風向北西ニシテ風力4位ナルトキハ53米孤立岩ガ鮫ヶ崎ニ充分遮蔽セラルル迄進航約318度ニ望ム處ニ至ル、此等錨地ハ水深14米底質沙混リノ岩ニシテ錨搔キ不良ナリ又風向南東ナルトキハ長濤侵入シ危険ナリ

223 10次 次ノ通追加ス

燈竿 天測點北東方ニ白塗竿柱木造燈竿アリ

224 4 沖村港 ヲ 沖港 ト改ム

228 18至26 上陸所及錨地 ノ記事ヲ次ノ通改ム

上陸所及錨地 上陸場ハ良好ノ處ナク只風濤ノ狀況ニ應ジ島ノ東岸ニ於テハ其ノ約中央ニ位スル南ト西岸ニ於テハ千鳥ヶ原北

頁 行 記 事

西方ノ海岸(西ノ南方約9 鍾附近)トアルノミ◎近海郵船會社定期船ノ錨地ハ南ノ沖合(摺鉢山ト東岩トノ一線上ニ於テ倉庫旗竿ヲ北北西ニ見ル附近)又ハ千鳥ヶ原北西岸ノ沖合(釜岩ノ南南東4 乃至5 鍾附近)ニシテ當時ノ風及濤ノ狀況ニ依リ適宜選定シ荷役ヲ行フト謂フ◎偏南東ノ風濤強キ場合ハ平岩崎ノ西北西方約3 鍾附近ニ避泊地ヲ得ベシト雖モ適當ナル上陸所ヲ得難シ從前平岩崎ノ南東側ニ上陸所アリタルモ近年附近海底隆起ノ結果假令小舟ヲ以テスルモ高潮時ニ於テサヘ上陸スルコト能ハザルニ至レリト謂フ◎南錨地ハ底質泥混リノ細沙ニシテ錨搔キ良好ナリ風向西乃至北北東、風力4 以上トナレバ陸上トノ交通困難ニ陥リ又沖合ヨリ「ウネリ」アリ特ニ偏南ノ「ウネリ」アルトキハ假令無風ノ際ト雖モ上陸至難ナリ◎千鳥ヶ原北西方ノ錨地ハ底質粗沙ニシテ海底ノ傾斜急ナルヲ以テ風力5 以上ニテハ走錨ノ憂アリ海岸ハ遠淺ニシテ舳ノ發著ニハ好都合ナリ◎平岩崎附近ニ基本水準標及經緯度測點標アリ◎平岩崎ノ南西方約半湊ニ溫泉湧出スル處アリ

229 15 次

次ノ通追加ス
沖ノ鳥島 北緯20 度25 分、東經136 度5 分ニ在リ◎東西約2.5 湊ニ亘レル狹小ナル石花環礁ヲ成シ、其ノ周縁ハ西部ニ在ル2 箇ノ露岩ノ外總テ水中ニ没シ干出岩點在ス、而シテ2 箇ノ露岩ハ遠望顯著ニシテ礁位認識ノ好目標ヲ成シ約2 鍾ヲ隔テ南北相對シ共ニ約2.7 米ノ高サアリ◎周圍急深ニシテ何等孤立險礁ヲ認メズ◎南方露岩ノ精位置ハ北緯20 度24 分55 秒、東經136 度4 分33 秒ナリ
疑存礁 捕鯨者ノ言ニ依レバ北緯20 度30 分、東經153 度0 分ノ地ニ1 礁アリト謂フモ其ノ存否疑ハシ、海圖2101 二 E. D. ト記シアルモノニシテ、大正15 年軍艦滿州ハ之ヲ探測セシモ附近15 湊以内ニハ礁脈ヲ見ザリシト謂フ

頁 行 記 事

「ロス、ジャーデンス」〔Los Jardines〕及 Marshall Island
 1788 年英船船長 Marshall ノ報告ニ依レバ北緯21 度40 分東經151 度35 分ノ地ニ2 小島アリト謂フモ其ノ存在疑ハシク、1529 年 Alvaro de Saavedra ノ發見セシ Los Jardines ト同一ナリト思考セラル◎大正15 年軍艦滿州ハ之ヲ搜索セシモ圖載位置ノ附近20 湊以内ニハ島嶼ヲ見ザリシト謂フ

230 16至 19 又同島 以下ヲ削除ス

別 冊 第 9 編 航 路 記

頁 行 記 事

1 13 海堡 以下 アリ 迄ヲ次ノ通改ム
 海堡附近ニ於テハ第2、第3 海堡ノ間ヲ主水道トスルモ第3 海堡ノ南西側モ亦無碍ノ深水水道ナリ、船舶輻輳セル場合ハ南航船ハ第3 海堡ノ南西側ヲ通航スルヲ安全トス
 5 17 雲見埼燈竿 ヲ削除ス
 5 17, 18 大鼻 ヲ 清水 ト改ム
 8 10至 11 ◎神子元島燈臺 以下 コトアリ◎ 迄ヲ削除ス
 10 15 行者山 ヲ 清水山 ト改ム



水
47

昭和六年十月十四日 印刷
昭和六年十月十六日 發行

發行者 水路部
東京市京橋區築地四丁目
印刷者 水路部
東京市京橋區築地四丁目

販賣所

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 東京市麴町區丸ノ内二丁目二十番地ノ一 | 日本郵船株式會社 |
| 橫濱市中區海岸通り三丁目九番地 | 同 橫濱支店 |
| 名古屋市中區天王崎町四番地 | 同 名古屋支店 |
| 大阪市西區川口町二十六番地 | 同 大阪支店 |
| 神戸市海岸通り一丁目外一號及二號 | 同 神戸支店 |
| 門司市門司字棧橋通り一番地ノ一 | 同 門司支店 |
| 長崎市常磐町四番地 | 同 長崎支店 |
| 函館市船場町十九番地 (近海郵船株式會社函館支店) | 同 函館代理店 |
| 小樽市手宮町三丁目十五番地 (近海郵船株式會社小樽支店) | 同 小樽代理店 |
| 臺灣基隆街字營仔寮百二番地ノ一 (近海郵船株式會社基隆支店) | 同 基隆代理店 |
| 朝鮮釜山府大倉町一丁目六番地 (朝鮮郵船株式會社釜山支店) | 同 釜山代理店 |
| 大連市山縣通り百八十一番地 | 同 大連出張所 |
| 上海共同租界黃浦灘第三十一號 | 同 上海支店 |
| 神戸市明石町三十二番地 | 日本船主協會 |

(定價金 25 錢)

水

水

水

水

水
47

水-47



1200501443912

47

水

47